

大正9年に民間団体を組織し、植栽事業を実施。現在、市民のシンボルとなっており、憩いと安らぎの場として利用されている。官民一体となって維持管理に努力。



北上市は、前九年の役の古戦城として知られる黒沢尻柵の築かれたところであり、古くから交通の要地として栄



えてきた。また、鬼剣舞、鹿踊りなど地方色豊かな郷土芸能が伝えられており、毎年八月にはこれらの郷土芸能を

集め、北上・みちのく芸能まつりが行われている。

展勝地公園サクラ並木は、北上川と奥羽山脈を一望できる風光明媚なこの地をサクラの名所にしようと、元黒沢尻町長沢藤幸治氏が発起し、大正九年に民間団体と賀展勝会を設立して、サクラの植栽事業を実施したものである。

植栽後北上川の洪水により流出したり、戦中は軍需用材として提供しなければならぬなど、苦難な時代を経たが、地域住民のサクラにかける情熱により現在まで保存されてきている。

並木道には、約一〇〇〇本のサクラが約二キロメートルのトンネルを形成し、毎年、さくら祭りの期間中は多くの観光客が訪れる。行政・市民が一体となって、維持管理が行われている。

## データボード②

- ① 岩手県北上市黒沢尻町
- ② 北上市役所 ☎0197-64-2111
- ③ 延長2km、幅員等平均200m
- ④ サクラ樹林
- ⑤ 北上さくら祭り、北上みちのく芸能まつり